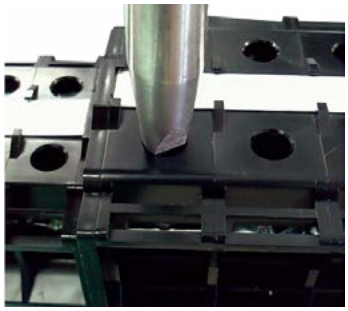
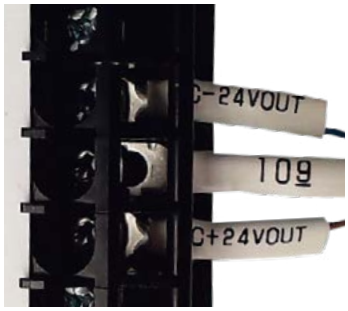
特長

カバー不要の安全構造



保護等級IP2X

結線部の目視確認が可能

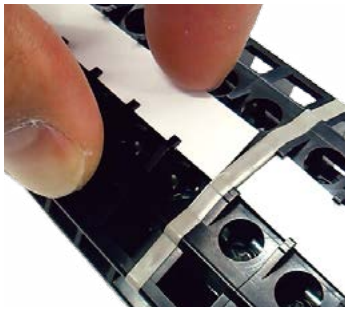


結線部の目視確認ができます。

通電部高さを統一

FPS-10 ～FPS-80までレール取付面から結線部までの高さが同じなので配線高さが揃います。

記名板の取付け、取外し



記名板の取付け・取外しについて、レール長手方向以外に、レール長手の垂直方向にも外すことができます。

ジョイント板について

容量が違う端子台間もしくは同容量の端子台間に組込むことで結線作業を効率的に行えるようにします。
または同容量の端子台間の仕切りとして使えます。

形式	材質	ベースサイズ	使用箇所	質量	標準価格(税抜)(販売単位)
FPS-1J	変性PPE (UL94V-0)	FPS-10、20、20H	FPS-10、FPS-20、FPS-20Hの容量間または同容量間の仕切りとして使用	約2.0g	36円/個(10)
FPS-2J		FPS-30、40	FPS-10～FPS-40の容量間またはFPS-30、FPS-40の同容量間の仕切りとして使用	約2.6g	37円/個(10)
FPS-3J		FPS-50	FPS-10～FPS-50の容量間またはFPS-50の仕切りとして使用	約2.7g	60円/個(10)
FPS-4J		FPS-80	FPS-10～FPS-80の容量間またはFPS-80の仕切りとして使用	約2.9g	65円/個(10)
FPS-5J		FPS-100	FPS-10～FPS-100の容量間またはFPS-100の仕切りとして使用	約6.4g	85円/個(10)

ジョイント板使用時の注意事項

・ジョイント板の平らな面を端子台の電極側に向けて組み込んでください。
・端子台のバリア面はどの容量も方向をそろえて組立てしてください。
（向かい合わせるとジョイント板の取付けはできません。）（図1）
・容量が違う端子台を連続してつなげる場合、容量の小さい端子台を左側にし、小さい順に組立てをしてください。（図2）

図1

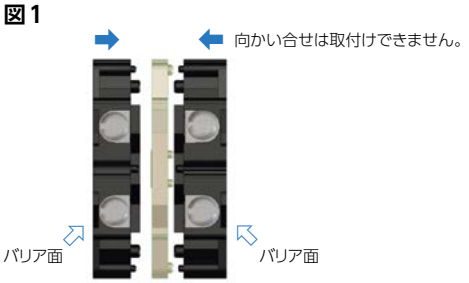
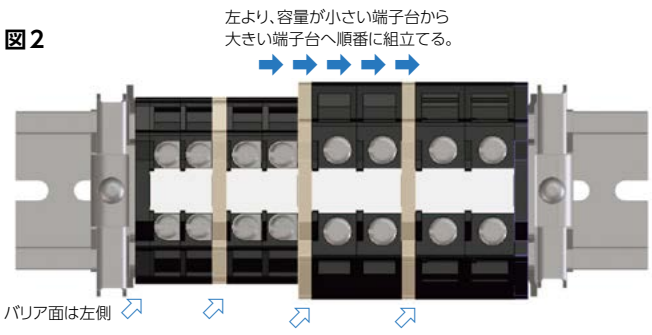



図2